

与謝野町公共施設等総合管理計画（実施計画）

資料 2－2

カテゴリー	施設名	建築年	建築後年数 2023現在	公共施設等総合管理計画（実施計画）記載内容						
				今後の方針	実施時期					
					H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	R20～R24	R25～R27
大規模集会施設	勤労者総合福祉センター （野田川わーくぱる）	1992	31	H54 年度までに長寿命化改修を実施し、維持します。運営においても管理コストや料金水準を見直します。					改修・ 長寿命化	
その他集会施設	産業創出交流センター	1974	49	H29 年度から産業創出交流センターとして用途転用。引き続き維持しますが、計画期間内は改修・建替えを実施しません。	維持（改修・建替えしない）					
体験・ レクリエーション施設	かや山の家	1978	45	指定管理者との連携を強化し、さらなる利用増とコスト削減に努め維持します。建替えせずに平成 40 年度までに宿泊施設として利便性を向上させるため、また長寿命化のための改修を実施します。		改修・ 長寿命化				
体験・ レクリエーション施設	大内峠一字観公園	2001	22	指定管理者との連携を強化し、さらなる利用増とコスト削減に努め維持します。建替えせずに平成 50 年度頃に長寿命化のための改修を実施します。					改修・ 長寿命化	
体験・ レクリエーション施設	野田川ユースセンター	1991	32	宿泊施設として重要な施設であり、引き続き維持していきますが、現在の所有者である京都府と協議し、負担の少ない形で町所有とした上で、指定管理者との連携を強化し、更なる利用増とコスト削減に努めます。建替えずにH45 年頃までに長寿命化のための改修を実施します。				改修・ 長寿命化		
体験・ レクリエーション施設	加悦双峰公園	1982	41	大江山登山の拠点施設として重要な施設ですが、かつてのような家族向けレジャー施設としての利用は大きく減少しており、使用せず老朽化が著しい設備が増えている現状にあります。それらについては廃止・解体するなど新たな整備は行わず、H40 年頃までに、最低限の機能に規模を縮小し運営形態を見直していきます。	規模縮小					
体験・ レクリエーション施設	池ヶ成キャンプ場	—	—	かや山の家と連携した運営を検討し維持します。	維持					
体験・ レクリエーション施設	平林キャンプ場	—	—	現在、休止中ですので、早い時期に廃止します。	廃止・解体					
体験・ レクリエーション施設	リフレかやの里	1998	25	指定管理者との連携を強化し、さらなる利用増とコスト削減に努め維持します。計画期間内は大きな整備は行わず、平成 40 年度頃までに売却等をし、民営化を目指します。		売却等				
体験・ レクリエーション施設	クアハウス岩滝	1992	31	貴重な温泉資源を活用した施設として今後も維持していく施設です。指定管理者との連携を強化し、さらなる利用増とコスト削減に努め維持します。建替えは行わず H35 年度までに大規模改修を行います。	改修・ 長寿命化					
体験・ レクリエーション施設	加悦生産物販売施設 （かや道の駅）	1993	30	地域活性化の拠点として今後も維持していく施設です。より効果的な運営形態を模索しながら多方面へ働きかけ、今後の施設のあり方を検討します。H45 年度頃に長寿命化のための改修を行います。				改修・ 長寿命化		
体験・ レクリエーション施設	ちんざん	1997	26	地域活性化の拠点として今後も維持していく施設です。指定管理者との連携を強化し、さらなる利用増とコスト削減に努め維持します。平成 45 年度頃を目途に長寿命化のための改修を行い維持しますが、その後、売却等により民営化を目指します。				改修して売却等		
体験・ レクリエーション施設	織物技能訓練センター	1974	49	染色センターとの包括的な管理を検討し、H40年度までに染色センターとの集約のために廃止します。ただし、直営の場合との効果を比較する等して、民間活力を取り入れた運営の可能性も検討します。		集約のため 廃止				
体験・ レクリエーション施設	染色センター	1982	41	織物技能訓練センターとの包括的な管理を検討し、H40 年度までに織物技能訓練センターとの集約のため建替えします。現施設の設置場所で規模が満たない場合は町所有の既存の施設等を活用することとします。ただし、直営の場合との効果を比較する等して、民間活力を取り入れた運営の可能性も検討します。		建替えて 集約化				

カテゴリー	施設名	建築年	建築後年数 2023現在	公共施設等総合管理計画（実施計画）記載内容						
				今後の方針	実施時期					
					H30～R4	R5～R9	R10～R14	R15～R19	R20～R24	R25～R27
体験・レクリエーション施設	木工加工施設	1985	38	平成 35 年度までに売却等を目指します（売却先によっては用途が変わる場合もあります。）。	売却等					
生産加工施設	農産加工施設	2003	20	リフレかやの里と同様に維持し、平成 40 年度頃までに売却等により民営化を目指します。		売却等				
生産加工施設	有機物供給施設	2001	22	平成 29 年度に生産強化のための改修を行い維持します。現在の町直営の運営形態を見直すなどの検討を行います。	改修・長寿命化					
生産加工施設	大豆・米乾燥調製施設	2003	20	平成 40 年頃までに売却等により民営化を目指します。		売却等				
生産加工施設	地域農産物等活用型交流施設	1998	25	平成 40 年頃までに、売却等を目指します（売却先によっては用途が変わる場合もあり、事実上の廃止となります。）。		売却等				
生産加工施設	ツバキ育苗温室	2003	20	平成 40 年頃までに、売却等を目指します（売却先によっては用途が変わる場合もあり、事実上の廃止となります。）。		売却等				
大規模公園	阿蘇シーサイドパーク （阿蘇シーサイドパークGG場）	2016	7	引き続き維持します。町内外の住民の交流拠点として、また、賑わいや交流 を生む施設として整備を検討します。整備 や今後の管理運営については、町負担を軽減する形で民間活力の導入を検討します。また、老朽化した遊具は修繕するなど安全性に配慮します。	本計画では方針を定めない （民間活力導入による整備・管理運営方針を早期に検討）					
大規模公園	野田川森林公園	1993	30	引き続きユースセンターと一体的に維持していきます。新たな整備等はいりませんが、ユースセンター同様に指定管理者との連携を強化し、利便性の向上等に努めます。また、老朽化した遊具は修繕するなど安全性に配慮します。	本計画では方針を定めない					